

# しゅうれんかい（修練会）Q&A

公益財団法人豊島修練会 2016年9月18日号（通算第10号）

## 子どもとの Q&A（ぎもんやしつもんのある子はすばらしいです！）

**Q**：小学校で英語を勉強するようになるそうですが、いつからですか？（小5男）

**A**：今でも小学校の5・6年生は外国語活動で、英語を楽しく学習していますね。今度、東京オリンピック・パラリンピックの年（平成32年度）から、今までの外国語活動は3・4年生からになり、5・6年生は英語科の勉強を週2時間勉強することになります。日本語を正しく話せるだけでなく、英語でも世界の人々と話ができるようにするのです。



## 大人との Q&A（パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を！）

**Q**：今度、道徳が教科になって、評価をするということですが、うちの子は、道徳が1と評価されたらどうしようと心配です。

**A**：道徳科は、道徳性について学習します。ですから、道徳科の評価がもし1だったら、「人間性が否定されたようで心配です」と言う気持ちはよく分かります。道徳科の評価は、テストなどによる数値的な評価や○×、ABCなどの記号的な評価はしません。子どもの学習の様子や発言の内容、ノートなどに書いた事柄、友達との話し合い、具体的な行動を観察し、良い点や進歩したことなどを文章で記述する評価にします。道徳科の評価結果は、受験の内申書にも使わないそうです。詳しくは、保護者会の時に担任の先生にお聞きください。



## 学校の先生がたの Q&A（先生にもわからないことがある！）

**Q**：道徳科になると、教材や学習活動、評価はどうなりますか？

**A**：道徳科になって、主たる教材は教科書を使うこととなります。現在教科書会社が編集している教科書（いわゆる検定教科書）を編集しています。教科書ができるまでは、文科省の「私たちの道徳」を中心として民間が発行している「副読本」を使って進めます。



学習活動は、これまでのようにややもすると読み物資料の読解的なものに偏りがちだった形式的なことを改善し、アクティブ・ラーニング（主体的。対話的な深い学び）の視点から問題解決的な学習、話的活動（「グループでの話し合い（ダイアログ）」）、どのようにしたらよいか、みんなで話し合い考え方をまとめる・結論を出す（ディスカッション）など、体験的な学習などを取り入れるようにします。

評価については、子どもの道徳性について対象にすることから「数値的・記号的な評価はしない」「その子の良い点や進歩したことを中心にして、記述式で行う」「長期的に子どもの学習状況やしたこと、書いたこと、話し合ったことなどを観察して行う」などが基本です。

詳しいことは、文科省や教育委員会の評価の方針や資料を参照して学んでください。

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。

